

刺子

明治の末期から大正の初期にかけて岩淵地区の消防組で使用されていたものです。

この刺子は赤羽一丁目一七番七号の石渡勝利氏から寄贈されました。



まとい

昭和61年2月、日本消防協会定例表彰式が高松宮殿下御臨席のもと挙行され、日本消防協会会長 笹川良一氏から赤羽消防団が特別表彰として受賞したものです。



「この特別表彰「まとい」は、団体表彰の最高位の賞であり、毎年47都道府県3,641団(昭和61年)から推薦され、特に功労顕著な消防団10団体が受賞できる最も栄誉ある賞です。」

龍吐水

放水しているところが「龍が水を吐く様子に見える」ことからこの名前がつけました。明和4年(1764年)には町火消13小組に龍吐水が一基ずつ幕府から支給されました。火消し能力は、屋根に水をかけ、飛び火による延焼防止することに役立つ程度です。

